



むつごろ



(福岡ー佐賀大和間で開通した九州横断自動車道)

10

1985.8

会報 むつごろ

昭和 60 年 8 月 20 日 発行
 福岡市佐賀県人会
 (発行責任者 溝上 嘉幸)
 福岡市中央区天神 4 丁目 1-6
 昭和セントラルビル内 (〒810)
 ☎ 092-7 6 1-8 2 5 3
 制作 (有)タナカ製本印刷所
 ☎ 092-7 1 2-2 5 5 2



← 鏡わり

なごやかに酒宴

県人会 スナッフ



↑ あいさつする保利氏



↑ 古藤佐賀県出納長と永倉氏

← 話が弾みます



→ 話がはずみます

↓ 懇親たけなわ



↓ 樽酒に舌つづみ



福岡市佐賀 県人会総会

200人つどい盛会に

にぎわう懇親の宴

福岡・佐賀を伸ばそう

会長 あいさつ
金子 宣嗣

会員のみなさんと今年もこの総会の席で、こうして元氣にお目にかかれましたことを心からうれしく思います。

会長あいさつ

福岡市佐賀県人会（会長、金子宣嗣・昭和自動車社長、四百六十人）の昭和六十年総会と懇親会は、さる五月十八日に恒例の会場となっている福岡市中央区薬院四丁目「はかた会館」で開いた。その数日後に九経連会長就任を控えた永倉三郎名譽会長（九州電力会長）、中曾根首相に同行してボンサミットから帰国間もない保利耕輔衆院議員ら来賓はじめ福岡在住の会員約二百人が出席、生ビールのジョッキをほして近況やふるさとの思い出話に花を咲かせた。

永倉名誉会長と金子会長の鏡割りで開幕。金子会長が「高速横断自動車道が佐賀まで開通して福岡と佐賀は増々近くなりました。ともに発展していくように、福岡に住む私たち会員も力を尽しましょう」とあいさつすれば、永倉名誉会長も「これから九州がひとつになって伸びていく時代。郷土佐賀県も遅れないように発展していくよう願っています」と述べた。

佐賀県から知事代理として出席した古藤浩出納長は、県政の現況を報告し、「佐賀県は県庁の改革や佐賀空港の実現など課題を抱えており、これからも福岡に負けないよう頑張っています」と決意を披露した。またこの南北両ルートの間、背振山ろくには、福岡・佐賀を結ぶ三瀬トンネルの開通も、そう遠いことではありません。こうなってくると、福岡県だ、佐賀県だといって区別する必要がなくなってくるような気がします。これから両県が一体となって発展していくことを心から願い、みなさんがますますお元気で活躍いただきますよう、祈りたいと思います。

た保利代議士はボンサミットのこぼれ話を紹介、宮島剛佐賀市長、西村重雄佐賀新聞社専務からもあいさつがあった。

「やあ、久しぶりなター」。「おりよ、元気があったのまい」。樽酒や宮島酒造（唐津市）から贈られた吟醸酒、生ビールに舌つづみを打ち、歌手干城たか子ショーのアトラクションなどで懇親パーティーは和気あいあい。席上、長年理事を務めて今回引退する坂田丈夫さんと県人会報編集に貢献した内山一正・佐賀新聞社情報文化センター局長（前福岡支社長）に、金子会長から感謝状と記念品が贈られた。



エイシン商事株式会社

〒814 福岡市早良区西新5丁目15番15号
電話 福岡(092) 851-4147(代)
FAX No (092) 851-4622

冷暖房・冷凍・冷蔵設備 設計施工
給排水・衛生設備
省エネ関連機器販売

関連会社 株式会社エイシン

〒849-13 佐賀県鹿島市大字納富分字鬼丸2869-1 電話 鹿島(09546) 3-1007

写真のりりしい姿からおわかりただけよう。大変なスポーツウーマンである。福岡県体育指導員連絡協議会の評議員、広報委員、筑紫野市体育指導委員、日赤福岡県支部安全奉仕団の委員として社会体育や安全指導に東奔西走の毎日。

もともと体育の先生。伊万里市瀬戸町の出身で、伊万里商から日本女子体育大卒。市内小中学校から伊万里高に勤務、昭和三十四年に結婚して太宰府市へ。

活躍する
佐賀県人
たち

リムス紳士服(本社、佐賀県杵島郡北方町)の博多店が大野城市御笠川一丁目、福岡西店が早良区小田部一丁目にあるが、両店の店長が秀さん。「しゅう」と読む。陶磁の町・西松浦郡有田町出身、四十歳の働き盛り。フタタ、キョーエイなど紳士服業界大手がしのぎを削る福岡の大消費地に食い入って、営業最前線で活躍中だ。

リムスは紳士服工場と販売部門を直結させ、オーダー界に新



佐々木マサエさん
(伊万里市出身)

ご主人の工(たくみ)さん(五四)は、カーテンなど室内装飾品メーカー「佐々木繊維工業」(筑紫野市)の社長で、ご自身も専務として内助の功ぶりを発揮。夏はまた特別に忙しい。日赤水上安全指導員の委嘱を受けた



秀 五十三さん
(有田町出身)

しい流通システムを取り入れたユニークな会社だ。一昨年三月に博多店がオープンすると同時に店長に着任、次いで福岡西店が同年秋に進出するとこちらも店長を兼務。入社七年目にして重要なポストに就き、エンジンフル回転というわけだ。

入社前は大阪の縫製会社で紳士服を担当、腕を磨いた。その力量がリムスの目に止まり、望まれて「ふるさとで働けるなら」と。リムス本社工場では技術指導だった。

「得意先の会社回りの毎日です。とにかく忙しい。以前は好きな野球、ゴルフもでき、たまには呼子方面へ釣りを楽しむ時間も少しはありましたが、今はとてもそんな暇はありません」と語る。

社員は博多店四人、福岡西店五人と人数こそ少ないが、福岡最前線の責任者として双肩に期待がかかる。県人会にも入会して「博多もん」になりきり、頑張る決意。「紳士服は私どもにぜひどうぞ」と県人会員にもPR中。

「リムス」は、フランス語で「無限」の意味だという。

やバドミントンなど激しいスポーツもやりましたが、今は弓道に専念しています。寸暇を見つけて九電体育館弓道場に走るんです。健康な限り、社会の一員として奉仕活動を続けます。少しでもお役に立てている、という自負心が健康を支えているのかもしれないね」と底抜けに明るい。一男二女のお母さん。

また、ご主人が国際ライオンズクラブ会員のため、ホストファミリーとしてこれまで交換留学生五人(オーストラリア、西ドイツ、アメリカ)も引き受けた。大活躍のスーパーレディーである。(大宰府市)

取締役社長
神原 祥光(鹿島市)
専務取締役
上川 正直(唐津市)
常務取締役
白浜 俊治(鹿島市)

トータル レクリエーション プランナー
株式会社
ジョイフル
本社
福岡市早良区西新5丁目15-15 〒814
電話(092)843-7446代
FAX №(092)851-4622

JOYFUL
TOTAL RECREATION PLANNER

< 業務内容 >

運動会の企画・運営
交流キャンプの企画・運営
職場レクリエーションの企画・運営
各種催事 企画・運営

九経連会長に就任し九州経済界をリードする
永倉 三郎氏

「九経連会長就任おめでとうございます。まず抱負をおきかせ下さい。」

永倉「九州はひとつ」という考え方を、掛け声だけでなく内実を伴ったものにした。そのためにはバラバラの経済団体の歩調を整え、息を合わせることに。九経連のほかにも経済同友会、九州経済調査協会、経営者協会、九州生産性本部などがあり、それぞれの代表者は九経連の理事を兼ねている人も多い。本当はこれらの団体を束ねて一本にした方がいいと思う。

略歴

佐賀市西田代出身。佐賀一東大経済学部と進んで昭和九年、九電の前身の東邦電力入社。九州電力設立後は総務畑。三十八年に取締役総務部長。常務、副社長から四十九年社長、五十八年会長。同年春に九経連副会長、瓦林潔会長が病氣入院後の昨年九月から会長代行。ことし五月に同会長に就任した。七十五歳。



永倉 三郎氏

九州・山口経済連合会長

といった声も聞かれる。ここはひとつ、九州のために役立つ九経連、信頼される九経連になるよう脱皮を図り、九州全体で大きく成長するようにしていきたい。「九州はひとつ」の理念はわかりませんが、現実には企業はしのぎを削り合い、各県は特産売り込み競争にみられるよう「わが県こそ」と躍起です。

永倉 一村一品運動に取り組み大分県の積極的な姿勢には感心しているが、九州全体の物産、工業製品などを増やしていくという観点からとらえるならば、

あまり褒めてばかりもおれない気がする。テクノポリスだって各県バラバラで考えていくには限度があるし、観光事業も協力してルートを整えた方がいい。一県と県との垣根を取り払って産業を発展させていくリーダー役を九経連に期待したいのですが。

永倉 企業誘致にしても、例えば九電は一昨年から営業部に専門のセクションを設け、国内外の企業に九州を紹介し、ニューヨークに派遣しているジェトロ担当などから情報を集め、各

県に対しても九州進出を希望する企業を紹介している。各県には合同の窓口を設けてもらいたいし、本来、こうした仕事こそ九経連で受け持たなければならぬと思う。

企業誘致に限らず、九経連会長に佐賀県出身の永倉さんが就任されたことで、佐賀県の期待は大きいと思います。

永倉 ふるさととは大切にした。佐賀は歴史的にみても他地域に比べて富農が多く、安心があった。その分、遅れたようだが、久留米・鳥栖テクノポリス地域には九州工業技術試験所もあるし、発足した九州産業技術センターの中核にもなる。産・学・官の体制づくりにもできるだけのお手伝いをしたい。

「これまでに比べ、かなり実務性に富んだ九経連に衣替えしていきそうですね。」

永倉 経済的、政治的にもしつかり旗振りをしていく人物が必要だ。事務局を活性化させるために会員企業から人材の出向協力を求め、九州の頭脳集団づくりを目指していく。国鉄の分割・民営化に伴う課題も多い。九州地方知事会と九経連の九州発展のための協力態勢も生まれようとしている。九州・山口の期待にこたえたい。

(株)INAX (株)ノーリツ 松下電工(株) サンウェーブ工業(株)その他販売施工一式



株式会社 小

笠

原

福岡市博多区博多駅南6丁目16-10 〒812 電話(092)431-2751(代)

関連会社 小笠原建材株式会社
鹿島・佐賀・嬉野・佐世保

◆デラックス公民館



神埼郡神埼町に完成した中央公民館は、これまでの「公民館」のイメージを超えたデラックスさ。写真。広くゆったりしたロビー。平らなフロアに七百五十席の電動いす、二階の固定いすを合わせると八百十六席の多目的ホールは、大編成のオーケストラが演奏できるステージを持ち、本格的なコンサートホールとしても活用できる。工費七億円。

◆無庵さんレリーフ

唐津市名営市民でことし一月五日死去した唐津焼の十二代中里太郎右衛門（中里無庵）さんのレリーフが、市役所玄関ホールに設置された。同じ名営市民の保利茂元衆議院議長、金子道雄元市長（いずれも故人）のレリーフと一緒にホールに並んでいる。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

◆同窓生探してまず

昭和十四年、東松浦郡厳木町から中国に渡り、終戦まで南京日本人中学校に在学していた福岡市南区野間四ノ三三ノ二五、学校教材製造販売田中豊美さん（五）は、「終戦四十周年のことし、ぜひ同窓会を開きたい」と全国に散った同窓生の名を求めていた。学校創立三年目で敗戦、混乱の中で自然廃校となり、一人の卒業生も出さずじまいに終わった。九州出身者が多かったという。もし消息を知る人は

田中さん（電092・551・0114）へ連絡を。

◆有田をロスでPR

有田焼窯元など六社が、国際市場開拓のために今秋、米国で開かれる有田焼海外展に参加する。この海外展は、日本貿易振興会が主催する「ロサンゼルス・有田焼展示会」で、九月十一日から三日間、ロサンゼルス市のデザインセンターで行われる。六社は出展に備え、商品選評会を開き、張り切っている。

◆九州のヘラブナ

ヘラブナ釣りは健全なレジャーフィッシングとして、ファンを全国に広げているが、佐賀新聞社では昨夏の「佐賀・長崎の海釣り」出版に続く釣りシリーズ第二弾として、空撮カラーガイド「九州・山口のヘラブナ釣り」を発刊した。写真

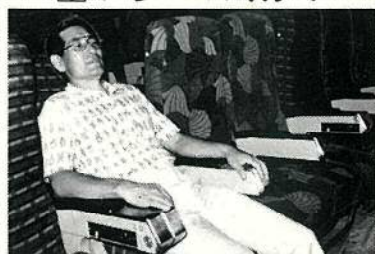


収められている釣り場は九州・山口百四十八カ所。これを二百二枚のカラー航空写真で紹介しており、湖面の変化やカケアガリの状況が一目でつかめる。A B判二百八十ページ、ビニールカバー付き。定価四千九百円。佐賀県内の書店、釣具店のほか佐賀新聞社本社、福岡支社（電092・751・2648）で取り扱っている。ヘラブナ釣りファンの方、いかがですか。

◆池田前知事が死去

七月十三日、池田直前佐賀県知事が脳血栓のため死去、十七日には東京都杉並区の築地本願寺和田堀廟所で告別式が行われた。五期二十年にわたって県政を担当し、財政再建と県勢浮揚のために尽くした池田氏。香月知事も「豊かな郷土づくりに尽された業績を県民は忘れません」と弔辞を述べた。

◆ゆったり気分で



伊万里市浜町の映画館「イマリ国際」は、一階客席の約三分の二をジャンボジェット旅客機「ボーイング747」のいすに取り替えた。リクライニングシートのため座席数は、元の二百二十席が百五十席に減ったが「ゆったりと映画を楽しんでほしい」と思っていると、曾我文雄社長（四八）。

◆都市とのふれあい

福岡市内の団地と「田舎と都市（まち）のふれあい祭り」を開くなど意欲的にムラおこしに取り組んでいる神埼郡三瀬村の青年農民たちが、今度は自然食品チェーン福岡店と業務提携し、レタスやホウレンソウなど十三品目の野菜の有機栽培に取り組んでいる。

このグループは、同村ふれあい祭り実行委員の村山安止さん（三）ら五人で、契約相手は福岡市早良区西新の福岡ナチュラル「ニワトリハウス」。すでに五

◆ログ・キャビン



神埼郡三瀬村にログキャビン・スクール「みつせ」が開校している。村有林から切り

月からレタスなどの出荷を始めており順調。峠ひとつを越えて、こんなところにも協力が...

◆ムラおこし大学

地域振興の担い手を養成する「新郷土づくり県民大学」が、七月二十四日から泊り込みで佐賀郡富士町の北部山村開発センターで行われた。県内四十九市町村から一人ずつ選ばれた二十代、三十代の若者が一堂に会する一泊二日の「ムラおこし大学」で、学長は香月知事。持ち寄った特産品をさかさに、ふるさとにかける夢や悩みを語り合った。

◆干潟耕運機を開発

杵島郡有明町の農機具販売店が、スイタ板と小型耕運機を組み合わせて、有明海の干潟の中でも使える干潟耕運機を開発した。写真。同町の南有明漁協などが行っているアゲマキ養殖法では、海砂と濁泥を混ぜて稚貝をまくが、これまでは混ぜ合わせる作業が人力で、かなり重労働なために敬遠する組合員が多



く、作業上の大きなネックになっていた。

耕運機はこれを一挙に解決、試運転では抜群の威力を発揮した。同漁協では「画期的だ。これで生産拡大ができるし、コストダウンにつながる。爆発的に売れるのでは」と期待している。開発したのは、有明町廻里津の「陣内商会」。経営する陣内洋三さん（五）は「特許が実用新案を申請するつもり」という。

◆人工海水浴場

玄海国定公園・東松浦郡鎮西町波戸岬で整備工事が進められていた人工海浜海水浴場が完成。この夏オープンした。昨年春できた「海のトリム」とともに、従来の海中展望塔を中心とした「見る観光」から「遊ぶ観光」へ向け、波戸岬の新たな目玉として人気を呼びそうだ。

◆出番がある学校

伊万里市教育委員会の学校教有課指導主事、小嶋一郎先生が「だれにも出番のある学校」佐賀県大川中学の変革と実践」と

柿右衛門さん
食器展開く

有明町の重要無形文化財、酒井田柿右衛門窯が「焼き物の原点は食器から」と、このところ食器づくりに力を入れ、五月には福岡玉屋で初の食器展を開いた。

柿右衛門さんは「生活の中に生きる食器を見直したい。ある意味では新たな一歩を踏み出した感じです」と感想。いう本を出した。二千五百部を作り、全国に売り出した。小嶋先生がことし三月までいた大川中で四年前にリンチ事件が起これ、新しい学校づくりが始まった。その記録。黎明書房刊、千七百円。

◆来年の花が楽しみ

杵島郡白石、有明、福富の三町は、白石平野を潤す農業用水路に「シヨウブ」を植えた新しい町づくりを目指しているが、先ごろ白石町内に住民が総出で有明排水路の河川敷に、長さ二・四にわたってシヨウブ苗二万五千株を植えた。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

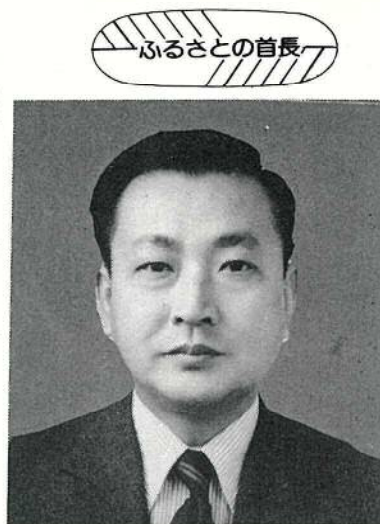
佐賀県だより

県内市町村長の中で最も若い町長さん。初当選の昭和四十九年九月当時四十三歳。もちろん一番若かったが、三期十一年の現在でもそうだ。

杵島郡北方町大崎出身。衆院議員館林三喜男氏の第一秘書を昭和三十五年によめ、杵島農協理事など務めて町長選へ。

「九州横断自動車道の武雄・北方インター（仮称）が六十二年春には完成、開通するので、それに遅れを取らないようにアセス道路を整備し、町発展に生かせるよう基盤を整えなければならぬ時です。今後は企業誘致、住宅政策などがポイントです。」

九州横断道のイン ターで飛躍を期す



北方町 町長
松本和夫さん

ざつくばらん人柄で話好き。「夜の町長室」と銘打って、昼間は仕事で忙しい町民とも話し合い、要望も聞けるように、月一回、町民に町長室を開放した。一期目当初からなので十一年間続く。全国でも前例のないユニークな発想で、当時は随分と話題になり、各地で追随する首長も多かった。

杵島工業用水企業副理事長、杵島郡町村会副会長など務める。佐賀県人会にひとこと 横断道が開通すれば、福岡もグッと近くなります。昔は炭鉱の町でしたが、ゴルフ場もあるので、新しい町づくりを始めている北方町をぜひ目にしてください。



理事
榊原 祥光

コラム
こらむ

昭和六十年年度の県人会総会が、恒例の「はかた会館」に永倉名誉会長、金子会長はじめ会員多数の出席を得て、五月十八日につづがなく終わりましたことを、理事の一人として深く感謝し、安堵している次第です。

ところで、伝え聞くところによると、福岡市を中心に生活しているわが佐賀県人は、九万人とも十万人とも言われています。もちろん正確な数字がつかめるすべはなく、あくまで推測に過ぎません。しかし、確実に言えることは、福岡市で生活している地元市民以外の各県出身者の数では、佐賀県出身者の数が間違いなくトップであろうと言うことです。

さて、こんなにも多数の佐賀県人が活躍しておりながら、現

県人会 盛り上 げよう

在の県人会員数が約五百人というのは、あまりに貧弱すぎると思います。そこで、対象者全員というのは無理としても、現会員数の数倍は早急に入会していただき、より充実した県人会に育てていきたいと熱望しているのです。

県人会活動については、会員各人がそれぞれに、その意義について考えをお持ちだと思いますが、私なりに常々、次のような理想を描いています。

《郷土を同じくする者が、ある時はふるさとを語り合い、またある時は勇気づけ、助け合う。いわば郷土愛の中に、人間愛の極致を追求したい》

《県人の中には各界で大活躍の方々がキラ星のごとくおられるが、一方では、大志を抱いて福岡に出てきたものの、真面目に働いても思うにまかせず、頼るあてもなく途方に迷っている

若者も少なくない。県人会がこのような若者にとつての「かけこみ寺」のような役目を果たせないものか。先輩諸兄の愛情と助言が、彼らに明日への生きる指針を与えるのではないだろうか。

さて高遠な理想を掲げたわけですが、理想は追求すること、意義があるわけですから、どれほど近づけるかわかりませんが、いつかその日がくることを信じて努力したいと心を新たにしています。

県人会運営の現状を見ると、金子会長の昭和グループにおんぶされてしまっているのが実態です。しかし、いつまでも甘えているわけにはいきません。そこで先輩諸兄に訴えたい。この佐賀県人会を「自分のもの」として参加し、意見を出し、一歩も二歩も踏み込んだ指導をお願いしたいということです。

われらが佐賀県は、業隠を生み、質実剛健を旨とした男の生きざまを世に問うた誉れ高い県民です。会員の皆さんが、「県人会に入会して良かった」と心から喜ばれるような県人会に育てるべく、微力を尽していきたいと考えています。

私は伊万里市大川内町に生まれ、伊万里商業学校を卒業して長崎市の合資会社稲田時計店に七年勤務した後、昭和十二年、中華民国上海に渡り、同地で副島時計店を開業し商売も繁盛していましたが、昭和二十二年の終戦によって、着の身着のまま内地に引揚げて、以来、福岡市に居住しております。

平和になった今、昔を思い出すと色々ありますが、特に昭和二十二年、上海に於いて軍用機製作費用として五十六万ドル寄付した領収書が今でも残っております。なお十九年伊万里市大川内公民館建設費として三、〇〇〇円、四〇年福岡市小笹小学校国旗掲揚台の寄贈。平和町五丁目に住し、十五年間町内会長を務め、福岡市より長期間町内会長を務めたことに対する町内会長賞をもらったこともあり、その時派出所もお願いしました。

私の指針は率先垂範であり、自分が出る時にそれも若い時に実行してきたが、これからは若い人の力になることを考えています。

佐賀県人会に入会してからは監事、理事役として現在に至っております。一方、福岡市南区地域では、佐賀県人会南区二〇日

佐賀県人会々員として

副島 英照



会（会員二〇数名）で結成し、毎月二〇日に会員の親睦会を開催しており、郷里の想い出話に花を咲かせております。

二〇日会は、山口（前理事）中嶋そして私の三名で今から四年前に親睦団体として祝いの事、

悲しみ事の慶弔などを含めて、佐賀県人慶弔親睦団体として発足させ、今日まで毎月二〇日に会合を開き親睦を計っています。この会を発足させた三名は明治四〇年生まれの同年のよしみでした。今迄に二回嬉野温泉に一泊旅行に行っています。

明治生まれの特別の時を除いて嫁はつれて行かず、特に佐賀んもんは強い考えがあるため、今までの旅行には男性のみでしたが、今後世代の移り変りに伴い、どう変わるか楽しみです。佐賀県人の皆さんのご参加をお願いしたい。

今私は二〇日会の事務局を担当していますが、毎月の親睦会は輪番制です。これからは趣味の同好会に発展させたいものです。二〇日会は南区だけに過ぎらず、佐賀県人であればだれでも参加できます。

毎月の会食も楽しく、今では博多駅周辺、業院など会場はその時の当番の権利でどこでも行くことになっていきます。一度遊びに来て下さい。七月二〇日の二〇日会は、南区の黒田屋のうなぎ料理で大いに元氣をつけました。また八月度が楽しみです。

いろいろと思いつくにつけ、今更ながら佐賀県人であることの誇りをいつまでも持ち続けたいと思います。

情報化時代のお手伝い……

有限会社 タナ力製本印刷所

代表取締役 田中 秀男

福岡市中央区薬院1丁目6番5-701号 TEL 092-712-2552
伊万里工場 伊万里市二里町大里甲2147番地1 TEL 09552-3-5214

「九州はキノコの宝庫なんです。健康食品としてもすばらしいのに、なかには命取りになる毒キノコもあるので、みんな二の足を踏むわけです。ちゃんとした知識があれば、だれもがキ

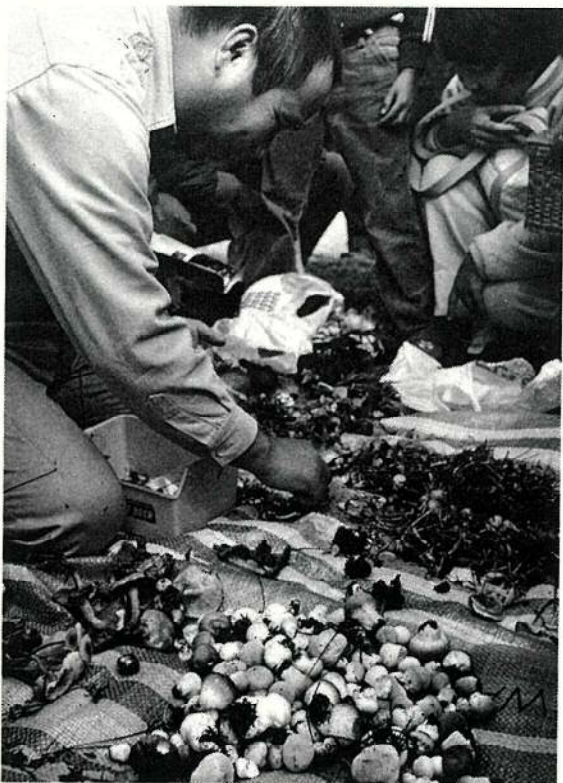


福岡市に「福岡菌食友の会」という愛好会がある。自然食ブームの中、「野生のキノコを採取して、いろいろな食べ方を楽しもう」というグループで、通称「福岡きのこの会」。この会を発起し、世話を引き受けている「キノコ博士」は、唐津市西唐津出身、塗装業増本彩工舎福岡支店長熊川雄次さん(三三)福岡市西区野方二五八〇だ。「県入会員のみなさんにもぜひキノコ狩りの楽しさときのこによる健康づくりのすばらしさを紹介したい」という。

キノコ博士

キノコのとりこになった男

熊川 雄次さん



虹の松原でのキノコ採取会 (西日本新聞提供)

九州はキノコの豊庫なんです キノコで広がった人付き合い

キノコのとりこになります。そんなに大変なことじゃありませんよ」という熊川さんは、福岡に移り住んで三年。

友の会は昨年九月、二十人あまりの同好者で発足したが、今では二百人に膨らんだ。会長は青木尊重九大教授にお願いした。年一回のキノコ採取試食会、七、八回の観察会を開き、キノコの味を楽しんでいる。

「数年前、病気で一週間寝込んだんです。その時、友人から『キノコば食うてみらんね』と勧められ、試しにいろんなキノコを求めていっぱい食べてみました。ところが、病気がケロッと治ってしまった。これですっかりキノコのとりこです。以来、暇さえあれば山林に分け入り、キノコごんまい。専門書を読みあさり、日本菌学会員なんです」

キノコ汁

ホームグラウンドはふるさと唐津市の虹の松原。キンタケ、アマタケ、ハツタケ、シヨウロ、キツネタケ、ムラサキナギナタタケ、ウラムラサキなどなど五六十種もあり、量も豊富だといふ。

キノコの輪

新聞に長期連載を依頼されたり、テレビ出演などで「キノコ博士」としてすっかり有名。ガン患者を抱える家族や健康を損ねた人からも電話で相談が持ち込まれたりもするが、丁寧にする限りのことを教えてあげる。

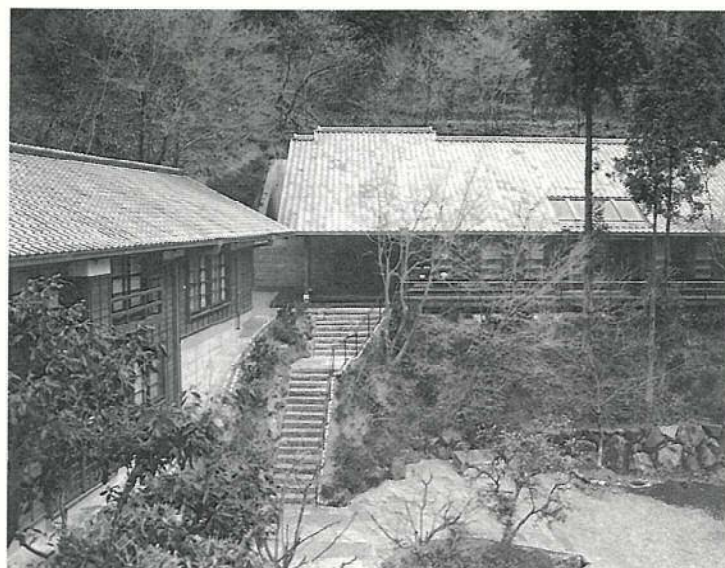
「そんなわけで福岡にきてからの人との付き合いは、キノコで随分広がりましたし、むしろ塗装業の手助けにもなっています」とニコリ。連絡先は電話811・5726

営林署の許可を得て虹の松原でキノコ狩りをする。会員たちがいろんなキノコを採集してくると熊川さんや九大農学部助手の大賀祥治さん(三三)が鑑定を引き受ける。俗称ハエトリキノコと呼ぶ「テングタケ」は毒キノコだから要注意。

キノコが集まってくると、熊川さんの奥さん、みのおさん(三五)らが手際よくミソ仕立てのキノコ汁をつくる。キノコの強い香りが漂う。アマタケの強い香りとした歯ざわり。ハツタケ、ホコリタケもなかなかいいける。新鮮なキノコ汁のうまみが全身にしみわたる。アミノ酸の量は、化学調味料など足元にも及ばないほどタップリ。

ふるさと訪問 有田其泉荘をたずねて

福岡市佐賀県人会 永倉三郎 名誉会長の自筆の「其泉」とかかれた門札がかかった別荘と陶磁器の工房機能を備えた其泉荘が、(西松浦郡有田町の陶磁器卸商社・株式会社其泉本店、蒲地



有田其泉工房

昭三社長)完成オープンした。テレビ・新聞等広く報道されたが県人会の皆さんに改めてお伝えしたい。

其泉荘は、やきものの町・有田の市街地から少し離れた、山

間の敷地に建つ工房とその来訪者のための宿舎、軒高をそろえた瓦屋根の二棟の建物は、内外共に木部を柿渋や紅殻を原料として古色塗料で仕上げられ、石段や石燈籠を配した外部空間の構成と共に創作の場、接客の場としての落ち着いた雰囲気が出されている。

有田の伝統的建築にはなかった古色仕上げの採用に象徴されるように、単に伝統的な要素を引用再構成するのではなく、風土性や歴史性で語られるのに対しても積極的な技術提案を行っている。

蒲地社長の構想では同町に訪れる文化人学者芸能人などに宿舎を提供し気が向いたら絵や焼き物を作ってもらって、その中から伝統の有田焼の殻を突き破るような近代性や独創性のヒントを学び、古きをたずね新しきを知る、新しい有田焼創造に役立てようという狙い。

同町の工場や中心地から少し離れた林に囲まれた閑静な場所。面積約一万四千平方メートル。



ホテルニューオータニ福岡 福岡店

昔からの別荘地だったが、同社が買取って新しく手を加えた。古い別荘を改装し新しく木造二階建ての工房と別棟の木造二階建ての宿舎を建てた。工房には電動ろくろ三台、ガス窯の本焼き窯と電気窯の上絵窯各一基を備え、二階には製品を飾るギャラリーもある。宿舎は各室・炊事場・食堂・浴室などがあり二十人が宿泊できる。

蒲地社長は祖父の俳号をとって其泉荘と命名した。

広い外庭は手入れをし、新しい庭木も加えて、目の前の英(

はなぶさ)山を背景に工費は約一億五千万円。工房には絵付けなどの専門家四人が常駐して滞在客の焼き物づくりの指導や世話をする。

福岡店(近藤店長)は福岡市中央区渡辺通りホテルニューオータニ内のサンローゼにある。オープン七周年を迎えた。

写真の橋崎敬子さん(有田出身・勤務二年)も元気に頑張っています。「ぜひ一度ご来店下さい。お待ちしております」。県人会の皆さんと少しお越し下さい。(取材 理事 上川正直)

新会員ご紹介

(敬称略)氏名、連絡先、電話番、職業、出身地の順

荒木 政夫

工業▽三田川町

有家 満稔

栖市

礎 義行

シヨナルクレジツト▽佐賀市

井上 公介

佐賀県人の動き

田中 久也 福岡県議会議長に就任(五月三十一日)▽

坂田 丈夫 県人会理事退任(五月十八日)▽

▽佐賀市出身

平松 嘉信 佐賀相互銀行福岡支店長▽

▽佐賀市本庄町

宮副 博昭 福岡市議会第一委員会委員長就任▽佐賀市出身

▽福岡三菱自動車販売

▽大町町 江口 守

▽講談社出版販売▽

唐津市 江島 義昭

▽司法書士▽上峰村 岡 八重子

ルスナック丘▽中原町

大草 秀幸

▽佐賀新聞福岡支社▽相知町

川原 隆幸

▽福岡三菱自動車販売

江口 守

▽講談社出版販売▽

唐津市 江島 義昭

▽司法書士▽上峰村 岡 八重子

ルスナック丘▽中原町

大草 秀幸

▽佐賀新聞福岡支社▽相知町

ご連絡下さい

会員の人事異動や親ぼくのつどい、慶弔などをご連絡下さい。また、地元や職場での面白いニュースについてもご一報下さい。楽しい紙面づくりのために、ぜひともご協力をお願いします。

一方、ふるさと佐賀県について知りたいこと、広報委員会の特集してほしいこと、紹介してほしい人物など希望がありましたらお待ちします。私たち広報委員会のスタッフが直接取材して、紙面で紹介します。もちろん

川原 隆幸

▽福岡三菱自動車販売

江口 守

▽講談社出版販売▽

ん、会員のみなさんご自身の取材、執筆も歓迎します。

会員のみなさんの投稿、作品出品をお待ちしています

会報「むつごろ」で会員の相互交流を図りましょう。

創作、随想、釣り自慢、レジャー、紀行文、短歌、俳句、子供や孫たちの作品、サークル仲間づくりなど、なんでも歓迎します。絵画、書、造形作品などは写真を添えて下さい。

残暑お見舞い申し上げます。福岡市佐賀県人会の名誉会長永倉三郎・九電会長が、九州・山口経済連合会(九経連)の会長に選任され、県人会顧問の山下徳夫運輸大臣は国鉄再建、日

支店▽芦刈町 古村 弘志

▽三井三池製作所福岡営業所▽三根町 藤井 市次

松永 良子

▽佐賀市 雄市 吉松 敏雄

力武 広次

▽須藤電気▽鳥栖市

▽大和町

雄市 吉松 敏雄

力武 広次

▽須藤電気▽鳥栖市

▽大和町

雄市 吉松 敏雄

力武 広次

▽須藤電気▽鳥栖市

▽大和町

▽(株)古賀▽上峰村 高橋 建次

▽佐賀新聞福岡支社▽佐賀市 高原 秀雄

三福(株)▽諸富町 永井富士男

納富 重彦

▽佐賀市

州支店▽富士町 野田 正治

▽竹中土木九州支店▽富士町

▽住友海上火災福岡

投稿作品にはテーマ、住所、氏名、年齢、職業(学校・学年)出身地を記入してお送り下さい。

宛て先は〒八二〇 福岡市中央区天神四丁目一・六 昭和セントラルビル、県人会事務局

編集デスク

残暑お見舞い申し上げます。福岡市佐賀県人会の名誉会長永倉三郎・九電会長が、九州・山口経済連合会(九経連)の会長に選任され、県人会顧問の山下徳夫運輸大臣は国鉄再建、日

支店▽芦刈町 古村 弘志

▽三井三池製作所福岡営業所▽三根町 藤井 市次

松永 良子

▽佐賀市 雄市 吉松 敏雄

力武 広次

▽須藤電気▽鳥栖市

▽大和町

支店▽芦刈町 古村 弘志

▽三井三池製作所福岡営業所▽三根町 藤井 市次

松永 良子

▽佐賀市 雄市 吉松 敏雄

力武 広次

▽須藤電気▽鳥栖市

▽大和町

雄市 吉松 敏雄

力武 広次

▽須藤電気▽鳥栖市

▽大和町

雄市 吉松 敏雄

力武 広次

▽須藤電気▽鳥栖市

▽大和町

雄市 吉松 敏雄

力武 広次

▽須藤電気▽鳥栖市

▽大和町

(広報委員会)